

図書館評価の実施にあたって

近年、生涯学習社会の進展により、公共図書館は地域の学習及び情報の拠点として果たす役割が大きくなり、利用者のニーズに応じた幅広いサービスが求められる一方、効率的な運営なども必要になってきています。

このような情勢のなか、図書館評価の重要性が高まり、平成20年6月に改正された図書館法においては、図書館の運営の状況に関する評価についての項目が新たに設けられました。

和歌山県立図書館では、こうした状況を背景に「県立図書館がめざす図書館像」を策定するとともに、図書館評価についての実施委員会を設置し検討を行ってきた結果、平成23年度から運営の改善と図書館サービスの向上を図るため、25の指標項目とそれに対する目標値を設定し、年度ごとの目標や改善点等を公表するとともに、終了した年度については、設定した目標に対する達成度等を公表することにしました。

平成25年7月2日

和歌山県立図書館

平成24年度

図書館評価

和歌山県立図書館

平成24年度図書館評価 実施要項

1 図書館評価の趣旨

和歌山県立図書館は、運営の改善と図書館サービスの向上等を図るために、図書館法第7条の3に基づき、図書館評価を行う。

【参考 図書館法抜粋】

(運営の状況に関する評価等)

第7条の3 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るための必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

2 図書館評価の構成と方法

(1) 評価の項目及び指標等

評価項目		指標項目数
1	サービスの充実に関して（情報の提供等含む）	9
2	資料の収集及び保存に関して	3
3	読書活動の推進に関して	4
4	市町村立図書館等への支援に関して	2
5	文化情報センターに関して	7
計		25

<参考>

地域等への貢献状況の紹介	7
--------------	---

(2) 指標項目の評価等

① 数値目標の設定等

前年度まで（過去3年間程度）の実績、本年度の施策及び取組等を勘案して、各指標毎に、平成24年度の数値目標の設定を行うとともに、改善方策を含めた取組を定める。

② 評価方法

評価は、平成24年度の実績と目標値をもとに、下記に示す「指標項目の評価基準」で客観的に行う。

③ 指標項目の評価基準

評価	達成状況
A（達成）	24年度実績が23年度実績と24年度目標の両方を超えている。
B（ほぼ達成）	24年度実績が24年度目標、又は、23年度実績のどちらかを超えている。
C（達成できていない）	24年度実績が23年度実績と24年度目標の両方に達していない。

(3) 評価項目の評価等

① 評価方法

評価項目内の指標項目の評価をもとに、下記に示す「評価項目の評価基準」で客観的に行う。

② 評価項目の評価基準

評価	達成状況
達成	A及びBの割合が100%（Aの割合が2/3以上）
ほぼ達成	A及びBの割合が80%～100%未満（Aの割合が1/3以上）
概ね達成	A及びBの割合が60%～80%未満
達成できていない	A及びBの割合が60%未満

3 図書館評価の公表等

公表については、下記の手順で、ホームページ等で行う。

（1）24年度の目標値等を設定した時点で第1回目（目標）の公表を行う。

（2）25年度当初に、24年度実績値をもとに評価・検証等を行い、改善策及び次年度の取組等を検討し、第2回目（結果）の公表を行う。

平成24年度 図書館評価シート

和歌山県立図書館(平成25年3月末日)

評価項目	指標項目	<参考> 過去3年間の状況			H24年度の目標		H24年度の状況		H24年度目標達成率 % (C/B)	評価	備考	
		H21年度実績値	H22年度実績値	H23年度実績値 (A)	H24年度目標値 (B)	H23年度実績に対する比率(%) (B/A)	H24年度実績値 (C)	H23年度実績値に対する比率(%) (C/A)				
1 サービスの充実に関して(情報の提供等含む)												
①	入館者数	495,137	493,478	478,435	487,500	101.9%	459,601	96.1%	94.3%	C	全国18位(24年度実績)	
②	新規登録者数	5,606	5,461	5,217	5,400	103.5%	4,242	81.3%	78.6%	C		
③	貸出冊数	490,352	505,213	499,809	505,100	101.1%	512,801	102.6%	101.5%	A	全国12位(24年度実績)	
④	貸出人数	152,151	155,432	152,812	155,100	101.5%	139,204	91.1%	89.8%	C		
⑤	レファレンス件数	35,965 (21,533)	37,983 (21,520)	38,318 (20,969)	38,650 (21,350)	100.9%	40,340 (22,601)	105.3%	104.4%	A	注) ()は書庫出納件数(内数)	
⑥	ホームページアクセス数	92,571	107,913	108,004	109,000	100.9%	113,335	104.9%	104.0%	A		
⑦	コピー枚数(マイクロフィルム含む)	42,354	44,463	35,464	39,700	111.9%	47,346	133.5%	119.3%	A		
⑧	展示(情報発信に関するもの)	30	48	47	47	100.0%	58	123.4%	123.4%	A		
⑨	報道機関等への資料提供数	21	37	50	50	100.0%	59	118.0%	118.0%	A	注) 広報への資料提供件数 (県民の友、きこら等含む)	
		○現状(課題等を含め) ・入館者数、新規登録者数、貸出冊数、貸出人数等は、減少傾向にある。利用者への更なるサービスの向上、利用者の新規開拓が急務である。 ・展示については、児童資料に関する展示を毎月行っていることなどから安定した状況となった。また、レファレンス件数、ホームページアクセス数、報道機関等への資料提供については、増加傾向にあり、中でも報道機関等への資料提供数については、23年度より県民の友への定期登載を行ったことにより増加している。					「1 サービスの充実に関して」の全体評価 【 概ね達成 】 ○達成状況等 【A(67 %) B(0 %) C(33 %)】 ・入館者数、貸出人数の減少は、田辺市立図書館がリニューアルオープンし、紀南図書館において入館者数等が減少した影響が大きいと考えられる。 ・新規登録者の減少については、市町村立図書館・図書室を通じて当館を利用する方の増加が影響していると考えられる。 ・貸出冊数、レファレンス、コピー枚数、ホームページアクセス数、展示、資料提供数については、23年度実績値及び24年度目標値を上回ることができた。特に貸出冊数については、1月より貸出冊数の上限を5冊から10冊に引き上げた影響が大きい。					
		○24年度目標達成のための改善点及び取組等 ・図書館の利用促進に向けた事業を積極的に行うとともに、展示内容の充実や新規計画を実施することにより、児童、生徒を含めた新規利用者の開拓や利用者の拡大に努める。 ・図書館が実施する様々な事業等を県民及び市町村や学校等の関係機関に対し周知を図るため、様々な機会をとらえて情報の提供に努める。 ・県立博物館などの文化施設等と県立図書館が連携、協力することにより、相互の利活用促進を図る。 ・ホームページについては、インターネットを利用することによる利便性を周知し、アクセス数の増加を図る。					○課題及び改善点 ・企画展示の工夫や図書館の利用促進に向けた事業を積極的に行った効果が現れてきている。今後も利用者に対し積極的に働きかけを行っていきたい。 ・紀南図書館では、24年度の入館者数及び貸出冊数等が前年度と比較し減少したが、展示内容等を充実させることにより利用者の増加を図っていきたい。					

平成24年度 図書館評価シート

和歌山県立図書館(平成25年3月末日)

評価 項目	指標項目	<参考> 過去3年間の状況			H24年度の目標		H24年度の状況		H24年度 目標 達成率 % (C/B)	評価	備 考 注)全国順位については、平成25年9月現在の順位である。
		H21年度 実績値	H22年度 実績値	H23年度 実績値 (A)	H24年度 目標値 (B)	H23年度実績に 対する 比率(%) (B/A)	H24年度 実績値 (C)	H23年度実績 値に対する比 率(%) (C/A)			
2 資料の収集及び保存に関して											
①	蔵書冊数	813,290	839,104	879,296	901,351	102.5%	904,382	102.9%	100.3%	A	全国21位(24年度実績)
②	本館の特色ある資料の状況	181,273	188,391	198,391	204,175	102.9%	205,341	103.5%	100.6%	A	
	・郷土資料冊数	75,181	77,131	79,577	81,161	102.0%	81,920	102.9%	100.9%	A	
	・児童書	106,092	111,260	118,814	123,014	103.5%	123,421	103.9%	100.3%	A	
③	受入資料冊数	26,277	26,236	44,699	22,055	49.3%	25,287	56.6%	114.7%	B	全国13位(24年度実績)
	・購入資料冊数	22,787	23,099	41,011	18,930	46.2%	20,858	50.9%	110.2%	B	
	・寄贈資料冊数	3,490	3,137	3,688	3,125	84.7%	4,429	120.1%	141.7%	A	
		○現状(課題等を含め) ・23年度は、国の交付金、ふるさと和歌山応援寄附金等により蔵書購入予算が増加し、資料購入冊数の大幅な増加につながったが、24年度は、現時点においては国の交付金、寄附金等の予定もなく、予算的には昨年度までと比較すると大変厳しい状況にある。 ・寄付金については、寄贈者の遺志により児童資料・郷土資料を17,899冊購入し、「きのくに虹文庫」を開設した。						「2 資料の収集及び保存に関して」の全体評価 【 達成 】 ○達成状況等 【A(67 %) B(33 %) C(0 %)】 ・23年度は、国の交付金、ふるさと和歌山応援寄附金等により、資料購入冊数を大幅に増加させることができた。 しかし、24年度は、交付金・寄付金等もなく、予算的に大変厳しい状況であったが、目標を3000冊以上も上回る資料の受入を行うことができ、蔵書冊数についても904,382冊まで伸ばすことができた。			
		○24年度目標達成のための改善点及び取組等 ・資料収集・蔵書購入にあたっては、従来の収集方法に加えて、ビジネス支援や防災対策など、本県独自課題の解決に活用できる資料の収集に努め、「県民のための図書館」として幅広い資料の収集について、中・長期的な計画を立て運用を図る。 ・23年12月から開設した「きのくに虹文庫」については、現時点での利活用状況を検証するとともに、今後一層の活用が図れるよう具体的な方策を定め実行に移す。						○課題及び改善点 ・従来の収集方針に加えて、ビジネス支援や防災対策など、本県独自課題の解決に活用できる資料の収集を行うとともに、本県は「がん」の死亡率が高いことから、県民に対し「がん」についての情報提供を行い知識を深めていただくため、「がん」関係の資料収集に努める。 また、25年1月から貸出冊数を10冊に増冊したことに伴い、特に利用が見込まれる文芸書や児童書等の収集にも力を入れ、「県民のための図書館」として幅広い資料の収集を行っていきたい。			

平成24年度 図書館評価シート

和歌山県立図書館(平成25年3月末日)

評価項目	指標項目	<参考> 過去3年間の状況			H24年度の目標		H24年度の状況		H24年度目標達成率 % (C/B)	評価	備考
		H21年度実績値	H22年度実績値	H23年度実績値 (A)	H24年度目標値 (B)	H23年度実績値に対する比率(%) (B/A)	H24年度実績値 (C)	H23年度実績値に対する比率(%) (C/A)			
3 読書活動の推進に関して											
①お話し会参加人数		3,760	3,199	2,962	3,100	104.7%	3,148	106.3%	101.5%	A	注)「あかちゃんと絵本のへや(H20年度7月より)実施」も含む
②図書館ウォッチング参加人数		538	591	611	620	101.5%	1,577	258.1%	254.4%	A	注)H20年度より実施
③手づくり紙芝居コンクール応募点数		53	66	52	60	115.4%	40	76.9%	66.7%	C	
④出張講座回数		28 (9)	45 (7)	51 (5)	45 (6)	88.2%	46 (11)	90.2%	102.2%	B	注)学校・市町村図書館等への出張講座 注)()は市町村図書館への支援件数(内数)
		○現状(課題等を含め) ・図書館ウォッチングや出張講座は、事業が4年を経過したこともあり、利用者の定着やリピート傾向も見られるようになってきた。 ・お話し会の内、図書館が実施する「あかちゃんと絵本のへや」については、安定した参加人数を得ることができたが、ボランティアによるお話し会は、参加者が減少傾向にある。						「3 読書活動の推進に関して」の全体評価 【概ね達成】 ○達成状況等 【A(50%) B(25%) C(25%)】 ・お話し会への参加者は、23年度実績値及び24年度目標値を上回ったが、長期的に見ると参加者が減少傾向にある。 ・図書館ウォッチングについては、各機関への積極的な周知を行ったことから、参加者層が拡大し、大幅な参加者数の増加につながった。 ・手づくり紙芝居は、学校単位での参加が減少したことから、昨年度実績値及び24年度目標値を下回った。			
		○24年度目標達成のための改善点及び取組等 ・お話し会については、図書館が実施する「あかちゃんと絵本のへや」は、内容の充実に目標をおき、ボランティアによるお話し会は、各ボランティアとの連携を行いながら広報等の見直しを行い、参加者人数の安定を図る。 ・図書館ウォッチングの参加校が固定化傾向にあるため、広報等の見直しを行うことにより新規参加の開拓を図る。また、親子や一般の図書館ウォッチングについては、定員の達成と内容の充実に努める。 ・手づくり紙芝居コンクールは、入賞作品の展示や出張講座等で手づくり紙芝居の良さを知らせると共に、学校単位での参加を促す。 ・出張講座については、図書館が市町村や学校等で行った講座を基に、各地域において自主的な活動を開催することを目的にしていることから、今後は、内容の充実等に重点を置いた活動を開催する。						○課題及び改善点 ・手づくり紙芝居コンクールについては、25年度が20回目であり、紙芝居に関心をもってもらえる企画や出張講座で紙芝居づくりの講義等を行うことにより、コンクール参加点数の増加につなげていきたい。 ・出張講座は、年度の後半(10月以降)に依頼が集中する傾向にあることから、年度当初から周知に努め、依頼が集中することのないようにしていきたい。 ・図書館ウォッチングは、学校のニーズを取り入れながら、内容の充実を図っていかたい。			

平成24年度 図書館評価シート

和歌山県立図書館(平成25年3月末日)

評価項目	指標項目	<参考> 過去3年間の状況			H24年度の目標		H24年度の状況		H24年度目標達成率 % (C/B)	評価	備考 注)全国順位については、平成25年9月現在の順位である。
		H21年度実績値	H22年度実績値	H23年度実績値 (A)	H24年度目標値 (B)	H24年度実績に対する比率(%) (B/A)	H24年度実績値 (C)	H23年度実績値に対する比率(%) (C/A)			
4 市町村立図書館等への支援に関して											
①	貸出冊数	25,454	25,810	26,993	28,800	106.7%	36,119	133.8%	125.4%	A	
	・図書館・図書室	7,217	7,883	8,123	8,200	100.9%	9,085	111.8%	110.8%	A	
	・団体<学校・ボランティア等>	18,237	17,927	18,870	20,600	109.2%	27,034	143.3%	131.2%	A	
②	市町村に対する支援件数	10	10	7	6	85.7%	11	157.1%	183.3%	A	注)出張講座及び研修等(市町村職員への) (「3読書活動の推進 ④出張講座」と重複有り)
		○現状(課題等を含め) ・市町村立図書館への貸出は、発送費用、回収費用とも県立図書館の負担としたことから、貸出冊数は増加している。今後も様々な機会を通じて広報を行い、地域格差のないサービスを展開する必要がある。 ・「きのくに虹文庫」を活用した団体貸出(セット貸出)については、利用状況等の検証を行い、活用が図られるよう取組を行う必要がある。					「4 市町村立図書館等への支援に関して」の全体評価 【達成】 ○達成状況等 【A(100 %) B(0 %) C(0 %)】 (図書館・図書室) ・市町村立図書館等への貸出は、発送・回収費用とも県立図書館の負担とする制度が定着したことにより、貸出冊数が増加した。 (団体) ・23年12月から運用が始まった「セット貸出」については、広報の成果もあり、新規登録を行った学校の増加に伴い、貸出冊数も順調に増加した。				
		○24年度目標達成のための改善点及び取組等 ・「市町村立図書館等への支援」については、引き続き協力貸出・団体貸出の制度について、様々な機会を通じて広報を行い、地域格差のない県立図書館サービスに努めるとともに、市町村立図書館(室)の利用拡充を図る。 ・昨年度から実施している「きのくに虹文庫」を活用した団体貸出(セット貸出)については、学校等に対し積極的に広報し、利用者の拡充を図る。 ・出張講座については、県立図書館が行った講座を基に市町村が独自に講座開催が行えるよう支援するとともに、講座内容の充実に努める。					○課題及び改善点 (図書館・図書室) ・協力貸出の制度について、利用していない公民館図書室に対し広報を行うとともに、引き続き様々な機会を通じて利用拡充を図る。 (団体) ・「きのくに虹文庫」を活用した団体貸出(セット貸出)については、今後とも広報等に努め、更なる利用の拡大を行うとともに、広域利用につなげられるよう検討を行う必要がある。 ・出張講座については、市町村が独自に講座開催が行えるよう支援するとともに、講座内容の充実に努める。				

平成24年度 図書館評価シート

和歌山県立図書館(平成25年3月末日)

評価項目	指標項目	<参考> 過去3年間の状況			H24年度の目標		H24年度の状況		H24年度目標達成率 % (C/B)	評価	備考		
		H21年度実績値	H22年度実績値	H23年度実績値 (A)	H24年度目標値 (B)	H23年度実績に対する比率(%) (B/A)	H24年度実績値 (C)	H23年度実績値に対する比率(%) (C/A)					
5 文化情報センターについて													
①	入館者数	37,560	46,143	50,773	53,300	105.0%	56,066	110.4%	105.2%	A	(注)メディア・アート・ホール及び講義研修室の利用者数は含まない。		
②	視聴覚資料利用人数	9,832	10,950	10,179	11,000	102.5%	9,540	93.7%	86.7%	C			
	・DVD及びビデオ	7,185	6,878	6,291	7,000	102.3%	6,636	105.5%	94.8%	B	(注)AVラウンジでの視聴数、ビデオ講座等		
	・CD	2,647	4,072	3,888	4,000	102.9%	2,904	74.7%	72.6%	C	(注)貸出及び視聴(H21年度より実施)		
③	体験教室等への参加人数	3,114	6,705	11,743	11,800	100.5%	12,907	109.9%	109.4%	A	(注)ふれあいルーム及び視聴覚学習室での各種教室等		
④	県民カレッジの登録講座数	651	624	679	700	103.1%	804	118.4%	114.9%	A			
⑤	県民カレッジの登録者数	4,897	5,040	5,154	5,300	102.8%	5,476	106.2%	103.3%	A			
⑥	施設の利用件数	194	213	186	200	107.5%	220	118.3%	110.0%	A			
	・メディアアートホール	91	98	93	100	107.5%	103	110.8%	103.0%	A			
	・講義・研修室	103	115	93	100	107.5%	117	125.8%	117.0%	A			
⑦	報道機関等への資料提供数	—	8	7	10	142.9%	14	200.0%	140.0%	A	(注)広報への資料提供件数		
		○現状(課題等を含め) ・23年度は、入館者数、体験教室等への利用人数、県民カレッジの登録講座数及び登録者数については、最近の4年間では最高の数値となり、目標値を上回った。特に体験教室等については、ボランティアやNPO等の方々の積極的な取組により、参加者が大幅な増加となった。 ・視聴覚資料の利用人数については、所蔵しているDVD及びCDの所蔵状況を改善し、利用拡充に努める必要がある。また、23年度における施設の利用件数については、駐車場等の利便性の問題や広報が不十分であったことなどから、大幅な減少となった。					「5 文化情報センターについて」の全体評価 【ほぼ達成】 ○達成状況等 【 A(86 %) B(0 %) C(14 %) 】 ・入館者数、体験教室等への参加人数、県民カレッジの登録講座数及び登録者数については、最近の4年間では最高の数値となり、目標値を上回った。特に体験教室等については、ボランティアやNPO等の方々の積極的な取組により、参加者が大幅な増加となった。 ・CDの貸出枚数を1枚から2枚に変更したことから、貸出枚数は伸びを示してきたものの、貸出人数は減少している。 また、所蔵しているDVDの貸出については、積極的に学校や社会教育団体等へ貸出を行ったが、目標値に至らなかった。 ・施設の利用件数についても、関係機関への働きかけや広報に努めた結果、最近の4年間では最高の数値となり、目標値を上回った。						
		○24年度目標達成のための改善点及び取組等 ・学校や市町村教育委員会などを訪問し、センター事業の広報や施設の利用促進に努める。 ・「ふれあいルーム」で開催するボランティア教室等の取組を事務局として支援する。 ・DVD及びCDの視聴覚資料については、特色ある所蔵に努める。 ・県民カレッジの講座の充実を図り、県民への周知に努める。 ・文化情報センターの業務内容等について、ホームページの活用や報道機関等への資料提供を行うことにより、情報発信に努める。					○課題及び改善点 ・視聴覚資料の利用促進を図るには、新たな視聴覚資料の収集方法を工夫する必要がある。 ・施設の利用促進に向けて、学校関係及び市町村関係者等に対し、一層の周知を行うとともに、新規利用者の開拓に努める。						

参考

和歌山県立図書館（平成25年3月末日現在）

項目	<参考> 過去3年間の状況			H24年度の目標		H24年度の状況		H24年度 目標 達成率 % (C/B)	評価	備考
	H21年度 実績値	H22年度 実績値	H23年度 実績値 (A)	H24年度 目標値 (B)	H23年度実 績に対する 比率(%) (B/A)	H24年度 実績値 (C)	H23年度実 績に対する比 率(%) (C/A)			
地域等への貢献状況の紹介 <u>※注)目標値は設定しない</u>										
① 施設見学等の人数	738	565	732	—	—	715	97.7%	—	—	注)「図書館ウォッチング」における施設見学を含まない
② 職場体験(中学生)の人数	20	40	40	—	—	47	117.5%	—	—	
③ インターンシップ(高校生)の人数	21	16	25	—	—	22	88.0%	—	—	
④ インターンシップ(大学生)の人数	10	5	7	—	—	8	114.3%	—	—	
⑤ 社会体験(一般)の人数	10	2	11	—	—	10	90.9%	—	—	
⑥ 1日図書館員(紀南図書館のみ)	3	8	4	—	—	10	250.0%	—	—	
⑦ 映画会・講演会等(オープン型)の参加人数	1,215	1,402	802	—	—	1,124	140.1%	—	—	
	<p>○現状(課題等を含め) 地域貢献については、中学生の「職場体験」や「映画会」など、県内の「教育と文化の発展に寄与する」という理念のもとに取り組んでいる。徐々に県民や関係機関等に認知され、増加傾向を示している。</p> <p>○23年度の取組等 職場体験やインターンシップ等については、生徒・学生のキャリア教育推進のために、積極的に受け入れる。 また、県民の教育と文化の発展という観点に立ち、オープン型の図書館映画会(子ども用・大人用)や講演会等も関係機関と連携協力しながら実施していく。</p>					<p>○24年度の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験、インターンシップは、学校からの希望が多く全体的に増加した。参加校が重なると受け入れが難しくなるため、今後は、事前の日程調整などを円滑に進めて行きたい。 ・映画会の参加人数は減少したが、遊ing等で行った講演会への参加者が増加した。 ・25年度の映画会については、文化情報センターが主体となり「図書館らしい映画会」を企画運営していく。 ・施設見学は、図書館ウォッチングには参加できない幼稚園・保育園児の参加が増加した。 				